



黒い台紙にはり付けて、クモの網標本を作ろう!

町中にもたくさんあるクモの網。観察するといろいろな形があることに気がつきます。これはクモが糸で作る「虫とり網」で、えものをとらえるための「わな」なのです。網の形や仕かける場所はクモの種類によってちがひ、えものをとらえるためのさまざまな工夫があります。スプレーと黒い台紙を使って網だけを標本にすることで、デリケートで複雑な形をした網でも、きれいに標本にすることができます。

用意するもの



白色と透明のラッカースプレー
*ホームセンターなどで手に入る。

+



スプレーのり
*網にまんべんなくのりをふき付ける。

+



黒い画用紙 (B4サイズ)
*網をはる台紙にする。厚めのものが使いやすい。

+



クリアホルダー
台紙より大きなものを用意する。

step 4 up クモの網の形と観察テクニック

クモの網といえば、円い形をした円網がよく知られていますが、ほかにもシート状、ドーム型やハンモック型、不規則な形のものなどさまざまです。また、オニグモのなかまは、夕方から網をはり、朝には片付けてしまう種類も多いため、昼だけではなく、夜にも観察することで、さまざまな種類のクモの網に出会うことができます。光の具合などで網が見えにくい場合は、きりふきを使うと糸に水できが付いて見やすくなります。



コシロカネグモは、円網を縦ではなく横方向にはる。



コクサグモは、生けがきなどにシート状のたな網をはる。



夜に網をはるサツマノミダマシ。日中は、葉っぱの裏などにかくれている。

クモの網標本の作り方

クモの網標本

公園でナガコガネグモを発見!



② 筆などを使って、網をこわさないようにクモを採集する。



③ スプレーが強すぎると、網の形がくずれてしまうので、遠くからそっとふきかけるのがコツ。



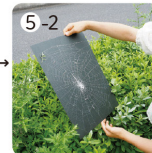
④ 白色のラッカースプレーとは逆の方向から、ていねいにふき付ける。

きれいなクモの網標本を作るコツは、採りやすい場所にある網を見つけることと、はりたての新しい網を採ることです。そのためにも、まずはクモの網がありそうな場所を、ひたすら歩きながら探してみましょう。

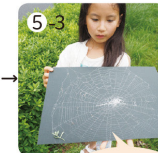
- ① 標本にするクモの網を見つけます。
- ② 種名を調べるために、クモを採集してプラケースに入れます。
- ③ 白色のラッカースプレーをふき付けて、クモの網にまんべんなく色を付けます。(白色のラッカーが、植物につかないように注意。)
- ④ クモの網に、スプレーのりをふき付けます。
- ⑤ 台紙に網をはり付けます。
- ⑥ 透明のラッカースプレーで仕上げ、クモの網標本の完成。



⑤-1 網の後ろ(スプレーのりをふき付けた面)に、台紙を差し入れる。



⑤-2 台紙を手前に引きながら、網をそっとくっつける。

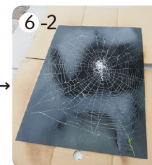


きれいに網が採れたよ!

台紙より大きなサイズのクリアホルダーに、クモの網標本を入れて、採集データ、②で採集したクモの観察記録やスケッチ、写真といっしょにまともめます。クモは、採集した場所にてがしてあげましょう。



⑥-1 ダンボールをしき、上から透明のラッカースプレーをふき付ける。



⑥-2 ラッカースプレーがかわいたら完成。



⑥-3 クリアホルダーにまとめたクモの網標本。

step 4 up クモの標本

クモは、かんそうすると腹部が縮んでしまうため、昆虫のような標本にはせず、エタノール液浸標本にします。作り方は、水生生物の液浸標本 (p.24-25) と同じです。



アシナガグモの液浸標本。容器はサンプル管びん。インターネットなどで手に入る。

ご近所自然にたくさんあるクモの「網」。見れば見るほどアート作品のよう。黒い台紙にのせることで、美しさも倍増です。でも網はとてもデリケートなので、キレイにとるには家の人に手伝ってもらおう! (奥山)

◆自然を調べるプロのスゴ技にチャレンジ! 特別配信版(期間限定) / 少年写真新聞社『100円グッズと身近な道具でできる! 博物館のプロのスゴ技で自然を調べよう ③標本と工作』小川誠・奥山清市・矢野真志 / 共著 (西日本自然誌系博物館ネットワーク) p.18-19より
※このシートは、非商業的な利用に限り使用を許諾します。 ©小川誠・奥山清市・矢野真志